

イベント EVENT

●ツアー

展覧会を巡るツアー

10/15 (土)・16 (日)・22 (土)・23 (日)
10:30～12:00

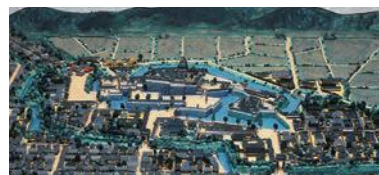


参加アーティストに在廊いただき、話を聞きながら展覧会場のツアーをします。その日の在廊作家、詳しい内容についてはホームページやSNSにて情報を公開していきます。

●ツアー

城下町を巡るツアー

10/25 (火) 10:00～12:00



亀岡祭山鉾巡行にあわせて、亀岡で生まれ育ったコーディネーター 並河さんと共に城跡の周辺城下町を巡るツアーをします。

●ワークショップ

植物標本をつくろう!& 植物園ガイドツアー

10/16 (日) 10:30～12:00 / 13:30～15:00

開催場所：丹波亀山城跡内花明山植物園
参加費：無料 講師：澤田徹 (花明山植物園)
講座時間：約1時間



日本古来の植物や野生植物、希少植物など約1,000種の植物が自然のままに生育されている植物園で、標本作製(押し葉の貼り付け作業)を体験します。植物の標本はどのようにして作られているのでしょうか？

●ワークショップ

「要らない写真」 を持って外に出よう

10/22 (土) 13:00～15:00

開催場所：丹波亀山城址周辺
参加費：1,500円 講師：加納俊輔 (アーティスト)



普段から何気なく行っている「写真を見る」という行為を、いつもとは違う方法で行ってみることで、少し違う角度から「ものを見る」ということを一緒に体験してみましよう。

●マルシェ

ボンボンマルシェ Vol.5 @城跡芸術展

10/23 (日) 10:00～17:00

開催場所：丹波亀山城跡広場
参加費：入場無料 (ワークショップは一部有料)



亀岡市内のモノ・ヒト・食の「循環」をコンセプトに、地域に新たな循環を生み出し、愛着の湧く日々をつくるマルシェ。10/23は「物々交換市」や「家具のお直し」、「体験・ワークショップ」に加えて、亀岡の手作り作家とクラフト出店や亀岡産の食材を使った美味しい食のマーケットも登場します。

●パフォーマンス

外骨格恐竜「うちのシロ」 10/23 (日)

会場：丹波亀山城跡広場



「うちのシロ」がマルシェ会場内を徘徊歩きます。太古からの時を揺るように、恐竜と一緒に城跡を歩いてみましょう。

○ワークショップ

段ボールで作るミニ恐竜になりきって、

「うちのシロ」と一緒に散歩しよう!

①11:00～ ②13:00～ ③15:00～

所要時間：30～45分ほど 定員：各回7名

会場：丹波亀山城跡広場

参加料金：1,000円 ※当日枠もありです

周辺情報 / 展示 INFORMATION

みずのき美術館

「みんなのみずのき動物園」展

10/8 (土)～11/27 (日)

金・土・日・祝 10:00～18:00
一般400円、高大生200円、中学生以下無料



映像作家浦崎力が、みずのき絵画教室で生まれた作品の中から動物を描いた作品を選び、それらのイメージをつかったアニメーションで動物園をつくり出します。会場の一角では、動物の塗り絵も体験していただけます。

主催 | みずのき美術館

京都府亀岡市北町18 電話 | 0771-26-1888

http://www.mizunoki-museum.org/

※美術館に駐車場はございません。

公共交通機関をご利用ください。



開かれたアトリエ

「みんなで紡ぐドレス展」

10/15 (土)～10/25 (火)

9:00～17:00
入場無料



亀岡で収穫されたオーガニック野菜をじっくりと観察した後に、子どもたちがそれぞれに感じたことを7メートルの布に絵の具で描きました。それを3着のワンピースに仕立て、高齢者の方をはじめ、開かれたアトリエを利用している方々が刺繍や切り絵を施して模様をつめました。幅広い年齢の方々が共同で作り上げたワンピースを展示します。

開かれたアトリエ

京都府亀岡市役所地下1階 電話 | 0771-55-9655

※車でお越しの方は市役所の駐車場をご利用ください。

亀岡祭・山鉾行事

10月23 (日) 宵々山

10月24 (月) 宵宮

10月25 (火) 山鉾巡行

丹波亀山城跡周辺の山鉾町では23日から山鉾が建ち、暗くなる

と提灯が灯り山鉾の上で子供たちがお囃子を演奏します。

※新型コロナウイルス対策のため、例年と内容が異なります。

詳しくは亀岡祭公式HPをご覧ください。



亀岡文化交流協会「乙女文楽」

日時：10月30 (日) 13時30分開演 (13時開場)

会場：大本本部 (丹波亀山城跡 みろく会館3階ホール) 出演：吉田光華・野澤松也・美紀乃・吉田光希

入場料：無料 (限定200席) ※先着順

●アクセス

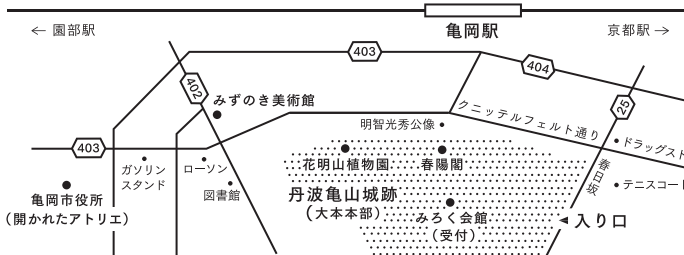
丹波亀山城跡 (大本本部)

京都府亀岡市荒塚町内丸

電車/JR嵯峨野線亀岡駅

下車南口より徒歩10分

車/京都縦貫自動車道亀岡ICから10分



お問い合わせ：かめおか霧の芸術祭実行委員会事務局 (亀岡市文化国際課内) 住所：京都府亀岡市安町野々神8番地

電話：0771-55-9655 (直通) メール：kirikameoka@gmail.com

新型コロナウイルス感染拡大予防ご協力をお願い

○来場時はマスク着用と手指消毒をお願いします。

○発熱などの症状があるときは来場をお控えください。

○感染状況により展覧会を中止又は変更する可能性があります。来場前にウェブ

サイト等で最新情報を御確認ください。



facebook



Instagram



公式HP

主催 | かめおか霧の芸術祭実行委員会、亀岡市

協力 | 宗教法人大本、亀岡祭山鉾連合会、

(一社) fogin、(一社) 亀岡市観光協会、みずのき美術館

文化庁

令和4年度

文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

かめおか霧の芸術祭

Kameoka KIRI Art Cultivation

会場 | 丹波亀山城跡
(大本本部)

10月15日 (土)

10月25日 (火)

丹波亀山城に登った。保津川を北に望む丘の上に築かれた城跡から、さぞ美しい川の景色や山並みが見えるのだろうと登ってみると、突然、真っ青な球体のような空が降ってきた。そのことに圧倒されながら、じっと石垣にもたれかかって空を見上げていた。神鍋山の火口の底から、丸く切り取られた空を見上げた時の空と同じだな、と思った。奥行きも広がりも無限だと思っていた空が球体になるそんな瞬間があるんだ。その球体の中に雲が湧き、陽を遮り、暗闇の中に虹を架け、星を散りばめ、星明かりで輝くまっさらな球体生まれる。岩に音が染み込むほどの静寂に耳を澄ましていると、足の裏から響いてくる鼓動がぼくを、ここではないどこかに連れて行こうとする。亀山のそんな感覚を呼び起こす力を知っていたから、宗教家出口王仁三郎はかつて荒れ果てたこの城跡に立ち「芸術は宗教の母である」と言ったのだと思う。

今は亀岡と呼ばれるこの土地に引き寄せられるかのように27組の芸術家が亀山城址に集まってくる。丹の海の土と水で育つ野菜を食べて育った芸術家。「霧で揉まれた柿は美味しい」と言われるように霧で揉まれた芸術は美味しいだろうか、今年も楽しみな収穫の季節がやって来る。

かめおか霧の芸術祭 総合プロデューサー 松井利夫

城跡芸術展

2022年10月15日 (土) — 25日 (火)

10時 — 17時 会場 | 丹波亀山城跡 (大本本部)

入場料

無料

参加アーティスト / 荒井優作 / 安藤隆一郎 / 稲あゆ美 / 岩野勝人 / ACOON HIBINO

大石早矢香 / 大村大悟 / 奥村博美 / 金重尹郎 / 加納俊輔 / クリスティーン・フリント・サト

栗本夏樹 / 黒川徹 / 小松千倫 / 柞磨祥子 / 出口鯉太郎 / 西久松友花 / 西久松吉雄

ベリーマキコ / 松井利夫 / 明主航 / 森太三 / 八木良太 / YUKOKIMOTO / 吉田伊佐

渡辺信喜 / WONG Chung Wah + FOK Ching



ART EXHIBITION



05

参加アーティスト

- 01 荒井優作
- 02 安藤隆一郎
- 03 稲あゆ美
- 04 岩野勝人
- 05 ACOON HIBINO
- 06 大石早矢香
- 07 大村大悟
- 08 奥村博美
- 09 金重尹郎
- 10 加納俊輔



06



01



13



07



02



03

- 11 クリスティーン・フリント・サト
- 12 栗本夏樹
- 13 黒川徹
- 14 小松千倫
- 15 柞磨祥子
- 16 出口鯉太郎
- 17 西久松友花
- 18 西久松吉雄



04



09



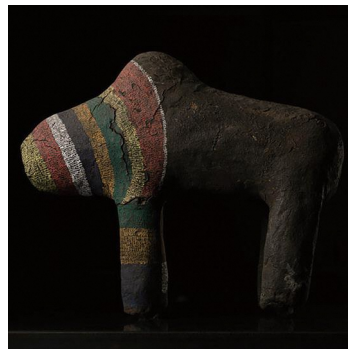
10



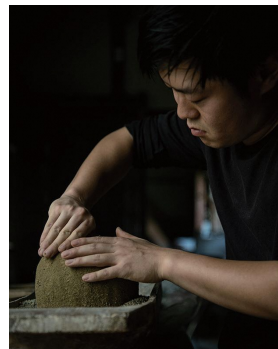
11



12



20



21



14



16



27



24



25



22



19

- 19 ベリーマキコ
- 20 松井利夫
- 21 明主航
- 22 森太三
- 23 八木良太
- 24 YUKOKIMOTO
- 25 吉田伊佐
- 26 渡辺信喜
- 27 WONG Chung Wah + FOK Ching



26



23

ARTIST

SHIROATO